

## 7.5 地盤沈下

事後調査計画に基づき、造成工事に伴う計画地外への影響（地盤沈下）の調査を実施した。

### (1) 調査内容

#### 1) 調査項目

調査項目は造成工事に伴う計画地外への影響（地盤沈下）とした。

#### 2) 調査方法

計画地の境界付近に定点観測点を設け、標高既知点を用いて測量により当該地点の標高を求め、沈下状況を把握した。

#### 3) 調査地域及び地点

調査地点は計画地に隣接する生出市民センター敷地境界付近の地点とした。調査地点は表7-5-1及び図7-5-1に示すとおりである。

表 7-5-1 調査地点（地盤沈下）

調査項目	調査地点
計画地外への影響 (地盤沈下)	生出市民センター敷地境界付近

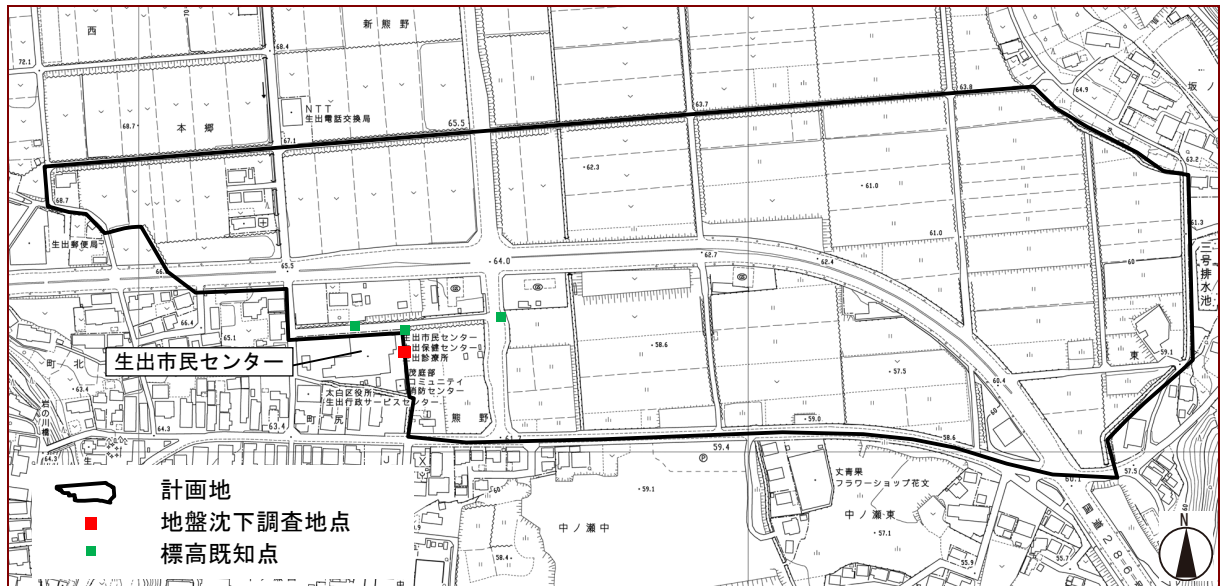


図 7-5-1 調査地点図（地盤沈下）

#### 4) 調査時期

調査時期は表 7-5-2 に示すとおりである。

表 7-5-2 調査時期（地盤沈下）

調査項目	調査時期
計画地外への影響 （地盤沈下）	平成 28 年 5 月 23 日
	平成 28 年 7 月 28 日
	平成 28 年 9 月 29 日
	平成 28 年 11 月 25 日
	平成 29 年 1 月 26 日
	平成 29 年 3 月 29 日

#### (2) 調査結果

調査結果を表 7-5-3 に示す。平成 27 年度における標高の変化は 63.474~63.475m であり、平成 28 年度における標高は 5 月 28 日が 63.474m であり、その後は 63.473~63.475m であった。

表 7-5-3 調査結果（地盤沈下）

調査地点	調査時期	標高 (m)
生出市民センター 敷地境界付近	平成 28 年 5 月 23 日	63.474
	平成 28 年 7 月 28 日	63.475
	平成 28 年 9 月 29 日	63.475
	平成 28 年 11 月 25 日	63.473
	平成 29 年 1 月 26 日	63.474
	平成 29 年 3 月 29 日	63.474

#### (3) 調査結果の検討

事後調査の結果、計画地外への沈下影響はないと判断した。

#### (4) 今後講ずる措置

事後調査の結果、計画地外への沈下影響は認められなかったことから、追加的な環境保全措置を講じる必要はないと考えられるが、事後調査計画に基づいて、今後も引き続き沈下影響の監視を継続する。

## 8. 事後調査の委託先

### 8.1 委託先の名称

株式会社 中村設計

### 8.2 代表者の氏名

代表取締役 中村 博美

### 8.3 主たる事務所の所在地

仙台市青葉区一番町 1-12-8 阿部ビル 601 号室